



オランダの方との平和交流会を実施！

来週、9月22日（月）、日蘭平和交流事業（外務省主催）の一環として、**オランダ平和交流使節団（15～20名）**が本校を訪問されます。

本事業は、第二次世界大戦時、日本の支配下にあったオランダ領 東インド（現インドネシア）において、約13万人のオランダ人が旧日本軍の戦争捕虜や民間人抑留者となった苦い歴史に由来があるそうです。

終戦後、**両国の平和と友好**を願い、日本とオランダの間で「日蘭架け橋事業」が実施され、平成17年からは外務省主催の「日蘭平和交流事業」として現在まで事業が引き継がれています。捕虜や抑留などに関わりのあるオランダの方々を毎年日本に招聘し、草の根レベルでの和解を促すことを通じて、日本とオランダの**相互理解の促進**を図ることを目的としているものです。

そして、ここ数年は、長崎県への訪問が続いており、今年度は本校が交流校として選出されました。

平和交流会の主な日程は、次のとおりです。



○ 10：10～10：50
（3校時）

歓迎セレモニー 【体育館】 （全校児童が参加）

- （1）歓迎の言葉（5年生代表児童） 5分
- （2）オランダ訪問団代表の挨拶 5分
- （3）オランダの紹介（6年生） 10分
- （4）長崎市や上長崎小の紹介（6年生） 10分
- （5）歓迎の演奏（ブラスバンド部） 10分

○ 11：05～11：35
（4校時）

6年生との交流 【多目的室】

6年生が5つぐらいのグループに分かれ、「けん玉」「折り紙」「あやとり」などを紹介し、一緒に体験交流を行います。

通訳の方も5名ほど同行されますが、英語を共通語として、少しでも自力で会話ができることを期待しています。

最後は「青い空は」を歌い、平和の思いを届けます。

そのほか、各学年で歓迎の飾り付けも頑張りました。



※ 当日は、テレビや新聞等の報道取材が入るかもしれません。その際は、Tetoruでお知らせします。